


Title	表紙・目次・編集後記
Author(s)	
Citation	公共空間 (2010), 2010 Autumn
Issue Date	2010
URL	http://hdl.handle.net/2433/143659
Right	
Type	Others
Textversion	publisher



公共空間

2010 Autumn (Vol. 5)

特集 展望 科学技術政策

— 巻頭インタビュー —

益川敏英教授に聞く

— 現場レポート —

関西発・産学官連携の最前線

本誌編集委員

— 科学技術政策の現状と課題 —

本誌編集委員

三酔人地方議会問答

京都大学公共政策大学院五期生

三田市議会議員

笠谷 圭司

～座談会～

現代中国を語る

～イベントレポート～

大学生国際問題討論会 2010

～Essay～

公共政策大学院生に薦める三冊の本

京都大学公共政策大学院教授

小野 紀明

～学生投稿～

日本の一般廃棄物政策の歴史

京都大学公共政策大学院四期生

濱 真理



『公共空間』編集委員会

京都大学公共政策大学院

Kyoto University School of Government

★編集後記★

謎かけを一つ。『公共空間』二〇一〇年秋号とかけまして、耐震工事と解きます。その心は、どちらも「じしんのたいさく」（自信の大作／地震の対策）です。お後がよろしいようで。（長）

お金と自由を求め世界各地を転々と渡り歩く人は、「Perpetual Traveler」と呼ばれます。十年後に私達は、どこを、誰と、旅しているのでしょうか。皆様にどこかで会えますことを…。（野）

日本人 科学技術と 共にあり 競い争い 先見えず 何事もチャレンジが大事です（笑）（小）
ものごとを繋ぐ重みを感じる今日この頃。小豆島の農村歌舞伎、徳之島の闘牛、今回の本誌のテーマも同様。「人材」こそが鍵になると思う。本誌も「人」を通じて、繋いでいきたい。（川）

座談会に加え、上海滞在中に尖閣の事件が起こるなど、個人的に中国を意識することの多い年でした。次年は小生が四代目編集長になるので、康熙帝のように働きましようか？（後）

東京より京都では四季を感じる。東山の若葉が色づくように自身も成長していきたい。（田）

「ほしいものをいくつか持っていないからこそ、幸福の不可欠の要素である」。（寺）

取材が無事終わり、平穏な十月を過ごせそうで良かったです。ありがとございました。（三）

一杯のコーヒーは乾いた喉を潤す。公共空間の記事は皆様の知的面での清涼剤となります。そんな記事を多く出す自動販売機のような編集委員でありたいと、心から思う秋の夕暮れ。（回）

写真の趣味を生かし、公共空間のロバート・キヤパとして頑張ります。どうぞよろしく。（粉）

『公共空間』 二〇一〇年 秋号（通巻第五号）

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 長谷川 智史

副編集長 野口 裕明

編集委員 小畑 勇二郎 川井 三希子

後藤 茂文 田中 英徳

寺井 裕介 三谷 真吾

向井 泰弘 榎山 大輝

編集顧問 真淵 勝

編集協力 堀部 比都美

西浦 圭彦（京都府）

西脇 吉夫（京都府）

三重県議会

京都大学公共政策大学院『公共空間』編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 法学公共政策大学院掛

TEL 075-753-3126

MAIL koukyoukukan@yahoo.co.jp

HP <http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/ja/environment/kokyokukan>

雑誌『公共空間』学生投稿募集について

雑誌『公共空間』は学生投稿枠を設け、皆さんの原稿を募集します。

募 集 要 綱

1. 内容

公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を用いてもらっても構いません（ただし、文書形式でお願いします）。

2. 字数と書式

3500～4500 字程度。書式は自由。

3. 応募締め切り

各号毎に締め切りを設定します。

4. 応募条件

本公共政策大学院に在学する学生であること。

5. 応募宛先

件名に「『公共空間』学生投稿応募」と明記の上、
koukyoukukan@yahoo.co.jp まで、ご連絡下さい。
なお、その際におおまかなテーマについてもお伝え下さい。

6. その他

応募多数の場合などは、編集委員会で協議の上、執筆者、掲載原稿を決定させていただきます。

本誌掲載の写真・イラスト・記事の 無断転載・二次利用はお断りいたします。

